

事後評価資料

(草津駅周辺都市機能誘導区域地区)

1. 事後評価制度の概要	P 1
2. 都市再生整備計画の概要	P 2
3. 数値指標の結果	P 5
4. 定性的な効果発現	P 8
5. 実施過程の評価	P 8
6. 効果発現要因の整理	P 9
7. 今後のまちづくり方策の検討	P 1 2
8. 次期計画や他地区への活かし方	P 1 3

令和 8 年 2 月

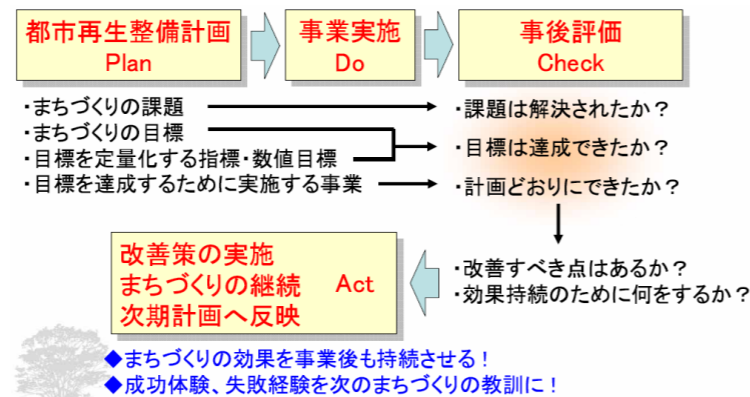
草津市 都市計画部 都市計画課

草津駅周辺都市機能誘導区域地区 事後評価

1. 事後評価制度の概要

(1) 事後評価の位置づけ

事後評価はPDCAサイクルによる事業評価制度の一環として実施されるもので、その後のまちづくりに活かすための作業。



(2) 事後評価の目的

事業がもたらした成果等を客観的に診断して、今後のまちづくりを適正な方向に導くこと、及び事業の成果を住民にわかりやすく説明することを目的とする。

(3) 事後評価の内容

① まちづくりの目標の達成状況等の確認!

まちづくりの目標の達成状況、および実施過程の検証を行う。

② 今後のまちづくり方策の検討!

まちづくりの目標の達成状況を踏まえ、事業効果の発現要因を整理し、今後のまちづくり方策を検討する。

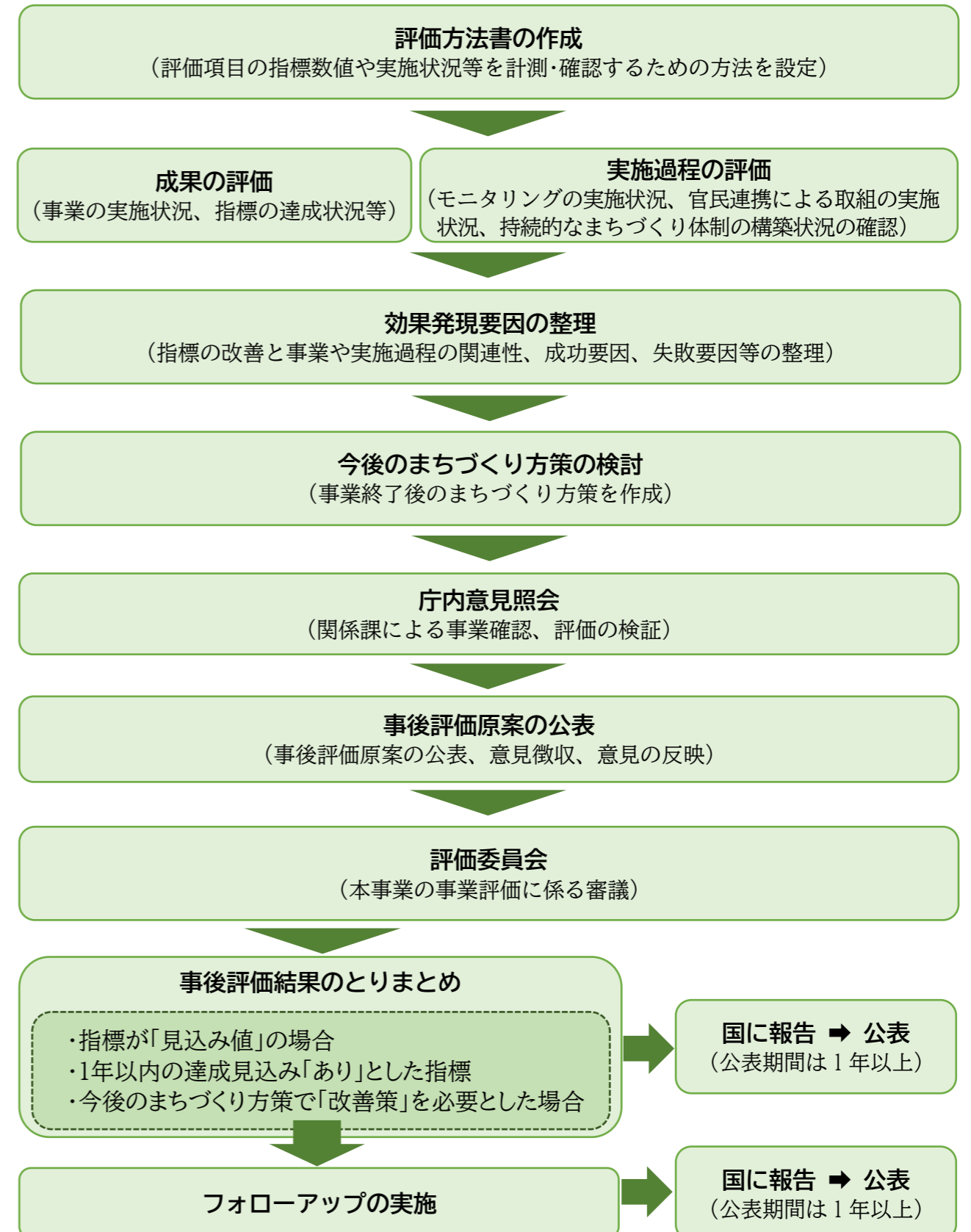
③ 事後評価のチェック!

事後評価の透明性・合理性・客観性を担保するために、評価結果を市民に公表し、意見を適切に反映すると共に、学識経験者を含む第三者で構成される「評価委員会」を開催し、その審議を経る。

(4) 事後評価委員会の目的

- ① 事後評価等が適切に遂行されているか確認および意見をいただく。
- ② 今後のまちづくり方策等について意見をいただく。

(5) 事後評価の実施フロー



2. 草津駅周辺都市機能誘導区域地区のまちづくり事業概要

◇まちづくりの経緯及び現状

- 草津市の中心市街地は、中心市街地活性化基本計画の中で東海道の宿場町を中心に市街地が形成された「本陣エリア」、JR 草津駅の創業を機に市街地が形成された「駅前エリア」、近年の人口増加とまちの拡大に伴い新たな市街地が形成された「駅西エリア」とされており、天井川として有名であった草津川跡地と JR 東海道線（琵琶湖線）により東西・南北に区画されていることによってそれぞれのエリアの特徴ある発展に繋がってきました。
- しかしながら、モータリゼーションの進展とともに郊外・ロードサイドに大型商業施設等の進出が進む中で、中心市街地の商業機能は急速に低下し、特に商店街を中心とする小規模な小売店舗はその数が大きく減少しており、加えて本陣エリアの高齢化の進展や、それに伴う空き家・空き店舗の増加により、今後さらに衰退が進む恐れがあります。
- そこで、平成 15 年 3 月に中心市街地活性化基本計画を作成し、ハード・ソフト両面から様々な施策を実施するとともに、平成 17 年度からは、駅前エリアと本陣エリアの一部を含む約 60ha の区域で都市再生整備計画事業に取り組み、商店街の空き店舗対策や街道景観の整備、駅周辺における公共空間のバリアフリー化、安全な歩行者空間の整備等の事業を実施してきました。
- 平成 25 年度には「草津市中心市街地活性化基本計画」の内閣府認定を受けるとともに、草津まちづくり株式会社を「都市再生推進法人」に指定し、官民連携による事業展開を図っています。また平成 26 年度には都市再生整備計画（草津市中心市街地地区）を策定し、中心市街地活性化のための拠点整備を行うとともに、魅力店舗誘致や街道景観の整備、観光案内所の改修など回遊性向上に向けた環境整備を行ってきました。これらの取組により、計画の目標指標である「歩行者通行量（平日）」や「空き店舗率」、「福祉・文化・交流施設の利用者数」は改善傾向となりました。
- しかし、商業指標等は依然低迷しており、エリア全体への事業効果の波及は十分ではなく、特に、「本陣エリア」については、空き家・空き店舗を活用した事業を実施しているにも関わらず、既存商店街での担い手不足や高齢化などから、それ以上に空き店舗が増加し、商店街としての活力が低下しており、活性化の拠点として整備した商業テナントミックスの整備効果の波及が十分ではないものと考えられます。
- そのため、第 1 期計画における課題を引き継ぎつつ、整備された各拠点施設間をつなぐソフト事業等を展開するとともに、新たな課題を解決するため、「草津市中心市街地活性化基本計画（第 2 期）」を策定するとともに、「草津市立地適正化計画」を策定し、草津駅周辺の中心市街地を軸としたコンパクトなまちづくりを推進してきました。

◇課題

平成 28 年度から取り組んでいる「健幸都市くさつ」の実現に向け、これまで整備を進めてきた拠点施設の活用と、官民連携等民間を中心とした取組を推進するとともに、エリアごとの特性に応じた活性化と各エリアのにぎわいのまち全体への波及を目指しています。

- 課題① 観光やお出かけの滞在型ニーズを取り込むため、歴史と景観を活かした回遊できる環境の整備
- 課題② 拠点施設を活用したにぎわいを創出するため、健幸づくりを中心とした市民交流の拡大
- 課題③ 商業機能の求心力向上のため、魅力ある店舗の面的な出店促進

◇目標

- 大目標：ひとが行き交い ひとが集い にぎわいと交流が広がる健幸なまち
- 目標① 歴史と景観を活かした“ひとが行き交うまち”（回遊性の向上）
 - 目標② 「健幸づくり」を核として“ひとが集い交流するまち”（集客力の向上）
 - 目標③ 魅力ある店舗がつながる“にぎわいが広がるまち”（エリア経済の進展）

◇実施期間

令和元年度～令和 6 年度

◇目標を定量化する指標

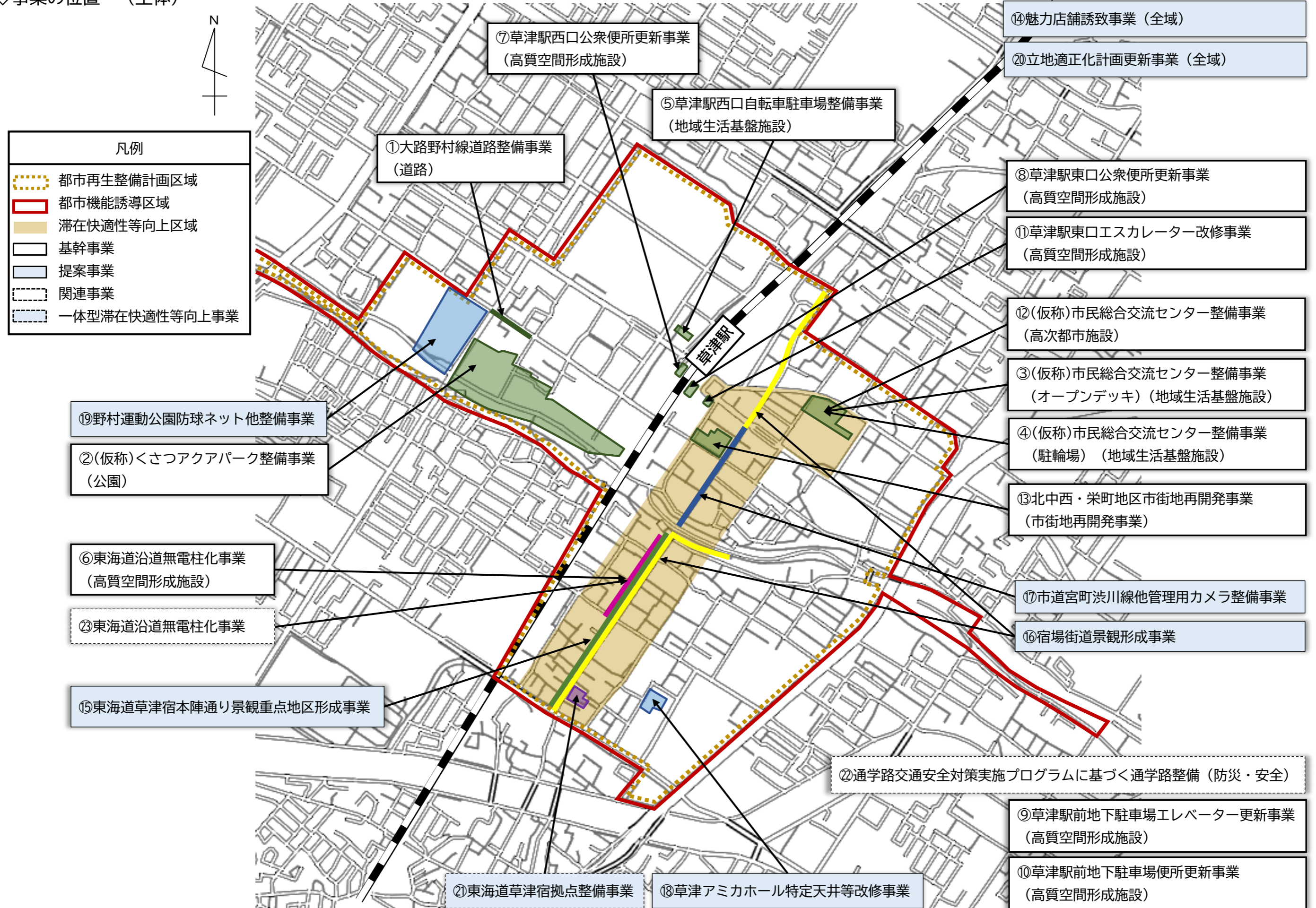
指標	単位	定義	計測方法	従前値 (H29)	目標値 (R6)
歩行者通行量 (休日)	人/日	中心市街地内の 8 地点における休日の歩行者通行量	実態調査の結果より、8 月の休日における中心市街地 8 測定地点の歩行者通行量(10:00~20:00 の 10 時間)を把握する	9,717	11,282
健幸・観光・交流施設利用者数	人/年	中心市街地内におけるにぎわい拠点施設の利用者数	各施設への聞き取りによる実態調査の結果より、健康・観光・交流施設の利用者数を把握する	371,077	592,427
営業店舗数	店舗	中心市街地内の営業店舗数	目視による実態調査の結果より、中心市街地全体の営業店舗数を把握する	692	735

◇事後評価原案の公表

草津市都市計画課が主体となって、以下方法で公表しました。

公表方法	公表・意見受付期間	受付方法
・草津市公式ホームページに掲載 ・広報くさつに掲載 ・窓口において閲覧を実施	令和 8 年 1 月 15 日 ～令和 8 年 1 月 28 日	窓口、郵送、 ファックス、Eメール

◇事業の位置 (全体)





▲①大路野村線道路整備事業（道路）



▲②（仮称）くさつアクアパーク整備事業（公園）
インフロニア草津アクアティクスセンター



▲③④⑫（仮称）市民総合交流センター整備事業
（地域生活基盤施設） / （高次都市施設）
キラリエ草津



▲⑤草津駅西口自転車駐車場整備事業
（地域生活基盤施設）



▲⑥⑬東海道沿道無電柱化事業
（高質空間形成施設）



▲⑦草津駅西口公衆便所更新事業
（高質空間形成施設）



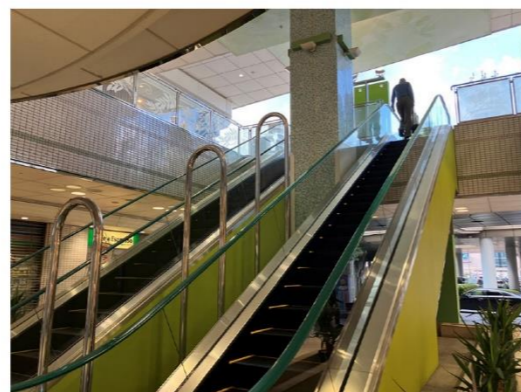
▲⑧草津駅東口公衆便所更新事業
（高質空間形成施設）



▲⑨草津駅前地下駐車場エレベーター更新事業
（高質空間形成施設）



▲⑩草津駅前地下駐車場便所更新事業
（高質空間形成施設）



▲⑪草津駅東口エスカレーター改修事業
（高質空間形成施設）



▲⑭魅力店舗誘致事業



▲⑬北中西・栄町地区市街地再開発事業
（市街地再開発事業）



▲⑰市道宮町渋川線他管理用カメラ整備事業



▲⑱草津アマカホール特定天井等改修事業



▲⑲野村運動公園防球ネット他整備事業

※「⑮東海道草津宿本陣通り景観重点地区形成事業」および「⑯宿場街道景観形成事業」は、
個人宅が多いため、本資料では未掲載とします。

3. 数値指標の結果について

【目標指標の達成状況について】

指標	従前値 (H29)	目標値 (R6)	実績値 (確定値)	目標達成度
指標1 歩行者通行量(休日)	9,717 人/日	11,282 人/日	10,368 人/日	△
指標2 健幸・観光・交流施設 利用者数	371,077 人/年	592,427 人/年	785,673 人/年	○
指標3 営業店舗数	692 店舗	735 店舗	745 店舗	○

【達成度について】

達成度の記号	達成度の考え方とイメージ
達成度「○」 となる場合	<p>実績値が目標値を上回った場合、達成度は「○」</p>
達成度「△」 となる場合	<p>実績値が目標値を超えない場合において、実績値が従前値を上回っている場合、達成度は「△」</p>
達成度「×」 となる場合	<p>実績値が目標値及び従前値を下回っている場合、達成度は「×」</p>

【事業実施状況について】

事業種別	事業名	整備年度					
		R1	R2	R3	R4	R5	R6
基幹事業	① 道路 大路野村線道路整備事業						
	② 公園 (仮称) くさつアクアパーク整備事業						
	③ 地域生活基盤施設 (仮称) 市民総合交流センター整備事業 (オープンデッキ)						
	④ 地域生活基盤施設 (仮称) 市民総合交流センター整備事業 (駐輪場)						
	⑤ 地域生活基盤施設 草津駅西口自転車駐車場整備事業						
	⑥ 高質空間形成施設 東海道沿道無電柱化事業						
	⑦ 高質空間形成施設 草津駅西口公衆便所更新事業						
	⑧ 高質空間形成施設 草津駅東口公衆便所更新事業						
	⑨ 高質空間形成施設 草津駅前地下駐車場エレベーター更新事業						
	⑩ 高質空間形成施設 草津駅前地下駐車場便所更新事業						
	⑪ 高質空間形成施設 草津駅東口エスカレーター改修事業						
	⑫ 高次都市施設 (仮称) 市民総合交流センター整備事業						
	⑬ 北中西・栄町地区市街地再開発事業 (市街地再開発事業)						
提案事業	⑭ 魅力店舗誘致事業 (全域)						
	⑮ 東海道草津宿本陣通り景観重点地区形成事業						
	⑯ 宿場街道景観形成事業						
	⑰ 市道宮町渋川線他管理用カメラ整備事業						
	⑱ 草津アミカホール特定天井等改修事業						
	⑲ 野村運動公園防球ネット他整備事業						
	⑳ 立地適正化計画更新事業 (全域)						
一体型 滞在快適性 等向上事業	⑲ 東海道草津宿拠点整備事業						
関連事業	⑳ 通学路交通安全対策実施プログラムに基づく通学路整備 (防災・安全)						
	㉑ 東海道沿道無電柱化事業						

指標1：歩行者通行量（休日）

従前値 (H29年度)	目標値 (R6年度)	評価値 (R6年度)	目標 達成度	1年以内の 目標達成見込み
9,717(人/日)	11,282(人/日)	10,368(人/日)	△	なし

指標に関連する事業：

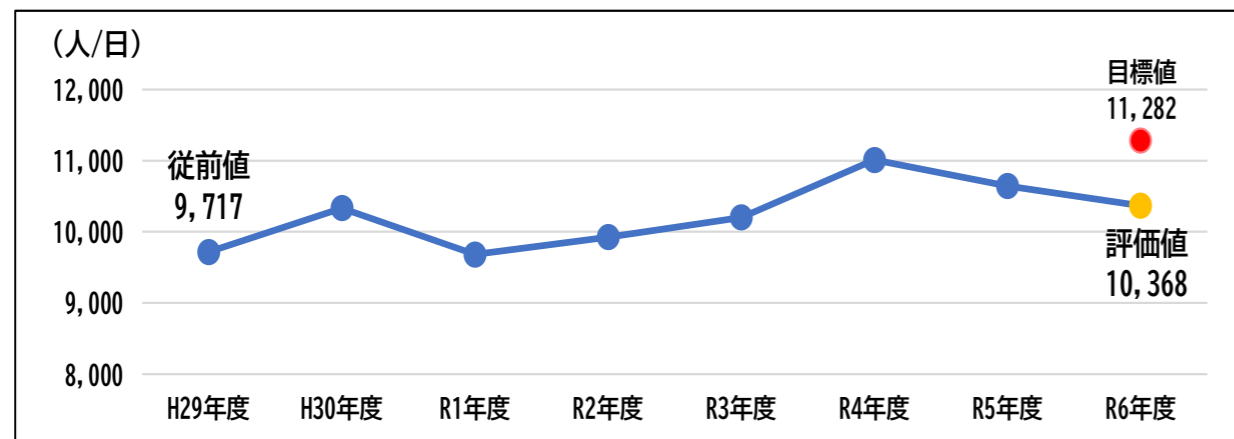
③④⑫(仮称)市民総合交流センター整備事業、⑥⑳東海道沿道無電柱化事業、⑤草津駅西口自転車駐車場整備事業、⑦⑧草津駅西口・東口公衆便所更新事業、⑨⑩草津駅前地下駐車場エレベーター・便所更新事業、⑪草津駅東口エスカレーター更新事業、⑬北中西・栄町地区市街地再開発事業、⑭魅力店舗誘致事業、⑮東海道草津宿本陣通り景観重点地区形成事業、⑯宿場街道景観形成事業、⑰管理用カメラ整備事業、⑱立地適正化計画更新事業、㉑東海道草津宿拠点整備事業、㉒通学路整備

指標の定義：中心市街地内の8地点における休日の歩行者通行量

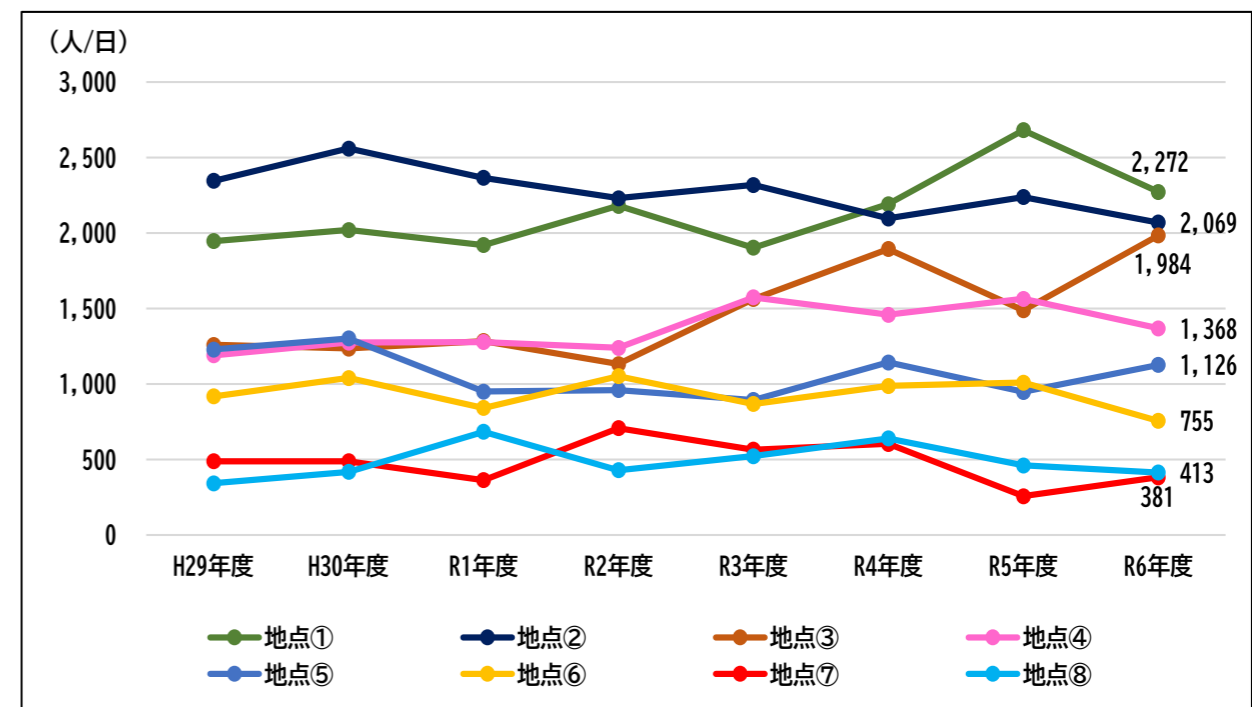
計測方法：8月の休日における中心市街地8測定地点の歩行者通行量調査（10：00～20：00の10時間）の結果を用いる

【目標達成度に関する検証】

- ・まちなかの回遊性向上を目標に、景観整備やキラリエ草津(市民総合交流センター)整備などを実施し、歩行者通行量の増加を目指しました。歩行者通行量調査を実施した結果、令和6年度の歩行者通行量は10,368人/日となり、目標は達成となりませんでした。しかしながら、評価値は従前値を上回っており改善傾向が見られることから目標達成度を「△」とします。
- ・目標を達成できなかった要因として、計測時期が8月であり、猛暑による外出控えや雨天など計測時期の気象条件などが影響していると考えられます。
- ・指標である健幸・観光・交流施設利用者数は増加傾向にあります。しかしながら、拠点間の移動が車に偏っており、周辺施設への回遊に至っていない可能性が考えられます。
- ・なお、従前値を計測した平成29年度から歩行者通行量は増加しており、歩行者通行量の改善に向けて引き続き回遊性の向上に資する取組等を図っていく必要はありますが、直近2か年の減少傾向を踏まえ、1年以内の目標達成見込みを「なし」とします。



▲指標1:歩行者通行量(休日)



▲計測地点別歩行者通行量の推移(休日)

調査日	天気	気温
R1 8月4日(日)	晴れ	最高 35.4℃、最低 25.5℃
R2 8月2日(日)	晴れ	最高 32.6℃、最低 22.9℃
R3 8月1日(日)	晴れ	最高 34.2℃、最低 24.8℃
R4 8月7日(日)	晴れ	最高 34.6℃、最低 24.6℃
R5 8月6日(日)	晴れ	最高 35.3℃、最低 26.3℃
R6 8月4日(日)	晴れ一時雨	最高 35.7℃、最低 25.2℃

▲各年歩行者通行量調査日、天気、気温

指標 2：健幸・観光・交流施設利用者数

従前値 (H29 年度末)	目標値 (R6 年度末)	評価値 (R6 年度末)	目標 達成度	1 年以内の 目標達成見込み
371,077(人/年)	592,427(人/年)	785,673(人/年)	○	—

指標に関連する事業：

①大路野村線道路整備事業、②(仮称)くさつアクアパーク整備事業、③④⑫(仮称)市民総合交流センター整備事業、⑥⑬東海道沿道無電柱化事業、⑤草津駅西口自転車駐車場整備事業、⑦⑧草津駅西口・東口公衆便所更新事業、⑨⑩草津駅前地下駐車場エレベーター・便所更新事業、⑪草津駅東口エスカレーター更新事業、⑬北中西・栄町地区市街地再開発事業、⑭魅力店舗誘致事業、⑮東海道草津宿本陣通り景観重点地区形成事業、⑯宿場街道景観形成事業、⑰管理用カメラ整備事業、⑱草津アマカホール特定天井等改修工事、⑲野村運動公園防球ネット他整備事業、⑳立地適正化計画更新事業、㉑東海道草津宿拠点整備事業、㉒通学路整備

指標の定義：中心市街地内におけるにぎわい拠点施設の利用者数

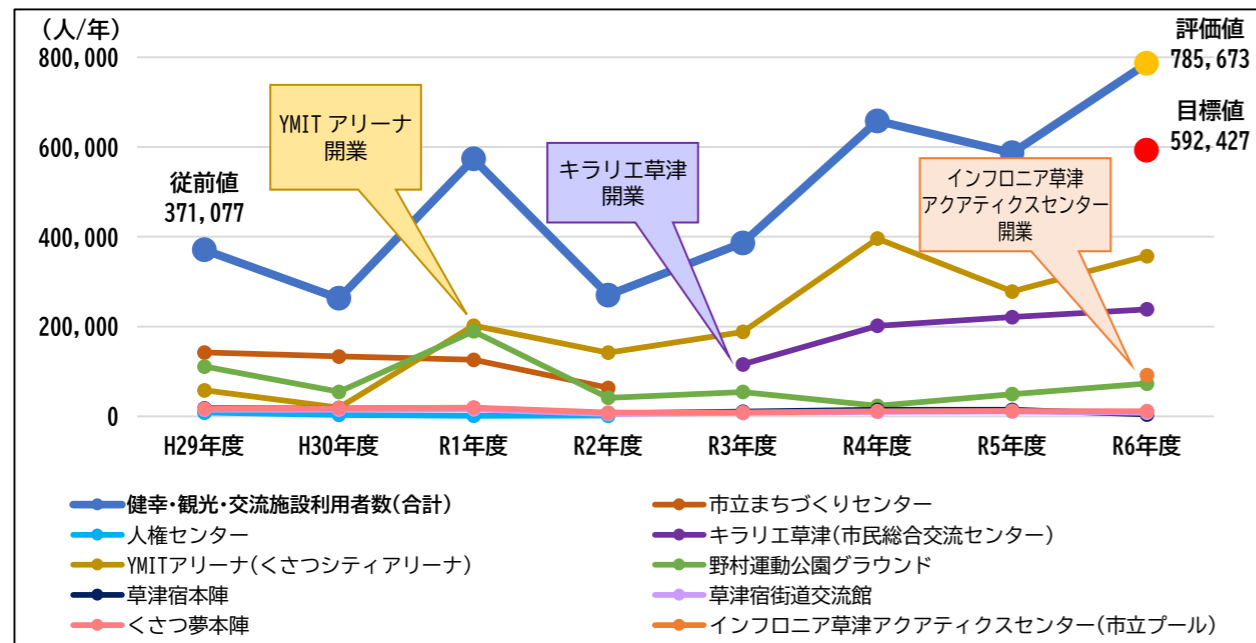
対象施設 YMIT アリーナ(くさつシティアリーナ)、野村運動公園グラウンド、インフロニア草津アクアティクスセンター(市立プール)、草津宿街道交流会館、キラリエ草津(市民総合交流センター)、くさつ夢本陣、草津宿本陣

計測方法：各にぎわい拠点施設へ利用者数の聞き取り調査を実施し、調査結果を用いる

【目標達成度に関する検証】

・にぎわい創出や市民交流を目標に、「インフロニア草津アクアティクスセンター(市立プール)」や「キラリエ草津(市民総合交流センター)」整備等を実施し、健幸・観光・交流施設利用者数の増加を目指しました。健幸・観光・交流施設利用者を集計した結果、令和6年度末の利用者数は785,673人/年となり、目標値を上回っていることから目標達成度は「○」とします。

・各施設の利用者数をみると「インフロニア草津アクアティクスセンター(市立プール)」の供用開始や、「YMIT アリーナ(くさつシティアリーナ)」「キラリエ草津(市民総合交流センター)」の整備のほか、国スポ・障スポのリハーサル大会の開催に伴いスポーツ関連施設の利用者数増加につながりました。



▲指標 2: 健幸・観光・交流施設利用者数

※キラリエ草津の供用開始に伴い、市立まちづくりセンターと人権センターは、キラリエ草津の利用者数に集計

指標 3：営業店舗数

従前値 (H29 年度末)	目標値 (R6 年度末)	評価値 (R6 年度末)	目標 達成度	1 年以内の 目標達成見込み
692(店舗)	735(店舗)	745(店舗)	○	—

指標に関連する事業：

④⑫(仮称)市民総合交流センター整備事業、⑤草津駅西口自転車駐車場整備事業、⑥⑬東海道沿道無電柱化事業、⑬北中西・栄町地区市街地再開発事業、⑭魅力店舗誘致事業、⑮東海道草津宿本陣通り景観重点地区形成事業、⑯宿場街道景観形成事業、⑳立地適正化計画更新事業、㉑東海道草津宿拠点整備事業

指標の定義：中心市街地内の営業店舗数

計測方法：目視による実態調査(中心市街地全体の営業店舗数)の結果を用いる

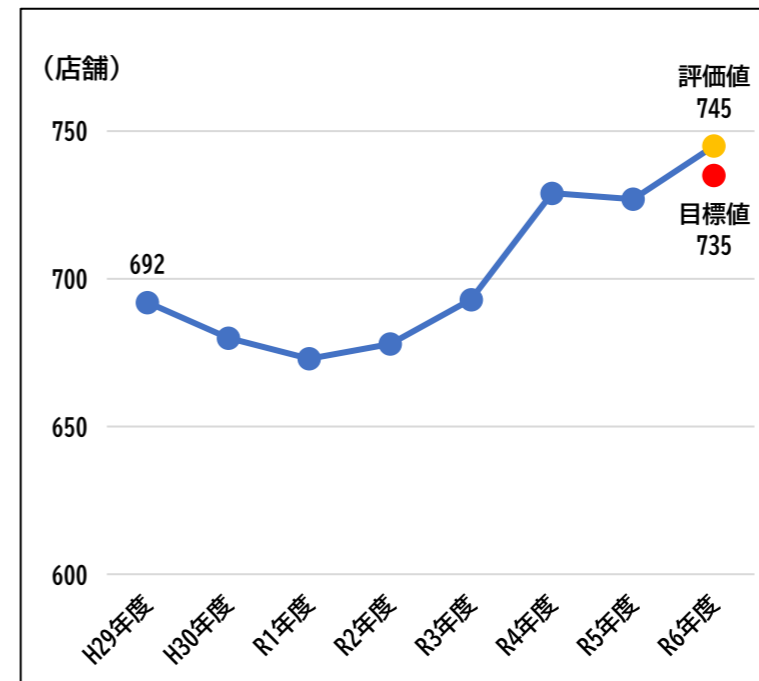
【目標達成度に関する検証】

・商業機能の求心力向上を目標に、北中西・栄町地区市街地再開発事業等による拠点施設の整備や、魅力店舗誘致事業等による空き店舗解消を実施し、営業店舗数の増加を目指しました。営業店舗数を調査した結果、令和6年度の営業店舗数は745店舗となり、目標値を上回っていることから目標達成度は「○」とします。

・再開発ビルが完成し、商業テナントが入居したことで、店舗数増加につながりました。加えて、東海道や宿場街道沿いの景観が改善されたことや、出店に伴う改修費用の一部補助により、出店の問合せにもつながりました。

・古くから商いを行っていた商店が、後継者不足や高齢化等により閉店する一方で、新規店舗や自宅兼店舗として新たにオープンしている店舗もみられました。

・これらの事業により、店舗数の増加に貢献するとともに、にぎわい拠点として周辺の歩行者通行量の増加にもつながっています。



▲指標 3: 中心市街地における営業店舗



▲魅力店舗誘致事業補助 物件

4. 定性的な効果発現について

資料の6・7Pでは数値や数量で定量的に事業の効果を評価しましたが、ここでは、定量的に評価できない事業効果についてまとめます。

① キラリエ草津(市民総合交流センター)における交流機会の創出

- キラリエ草津(市民総合交流センター)は、商工会議所や社会福祉協議会等の近隣施設を集約し、市民ニーズを敏感に察知かつ、ビジネスにつなげる環境整備を行いました。これにより、幅広い世代・職種の交流機会が生まれ、ビジネスマッチングが創出され周辺店舗の増加につながっています。
- また本施設では、プロムナードや会議室などを活用した多様なイベントが開催されています。令和6年に開催した「キラリエまつり」の参加者は1,200人と多くの方が来場されました。



▲キラリエまつりの様子
出典(草津市市制施行70周年資料より)

② 公共インフラ整備による安全・快適性向上

- JR草津駅西口・東口・草津駅前地下駐車場の公衆便所では、バリアフリー化工事を実施し、まちなかの魅力向上やユニバーサルデザインの推進、災害時の対応など、訪れる誰もが一層快適に利用できる駅前トイレとなりました。
- 草津アミカホールでは、長寿命化実現のため吊り天井や座席の改修工事、トイレの洋式化を実施しました。これにより、長期的に安心安全な環境づくりと人々が集まりやすい空間が整備されました。



▲草津駅前地下駐車場公衆便所

③ にぎわい創出による回遊性向上

- 中心市街地活性化事業の先導的プロジェクトとして平成26年7月にniwa+(ニワタス)を開業しました。市民がつくるナチュラルガーデンと魅力的な店舗が並ぶ広場を整備し、定期的にイベントを開催することで、中心市街地への人の流れを引き出すにぎわいの拠点となっています。



▲niwa+(ニワタス)全体 ▲ナチュラルガーデンの活用

出典(草津まちづくり株式会社HPより) <https://kusatsu-machizukuri.co.jp/news/>

- さらに、草津市が整備した公園内(草津川跡地)に、草津まちづくり株式会社が店舗を建設し3店舗を開業しました。市民活動の場となるにぎわい活動棟やイベント広場などがあり、人々が集い・楽しめるにぎわい空間となっています。近年では草津川跡地公園で散歩やランニングされる方も多くみられます。



▲マンション開発が進む本陣エリア ▲草津川跡地公園の様子
出典(クサツココリバ公式HPより) <https://www.kusatsu-cocoriva.jp/>

- また本公園が整備されたことで、近隣の本陣エリアの魅力が高まり、マンションの開発が進み、人口増加にも寄与しています。

5. 実施過程の評価

【モニタリングの実施状況】

- 本計画は「草津市中心市街地活性化基本計画(第2期)」の結果も踏まえて随時更新しており、目標を定量化する指標(数値目標)を同様の数値目標で設定しています。中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップを活用して本計画の数値目標や取組の進捗状況などを併せて確認しています。

報告時期	内容
令和2年5月	令和元年度 中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告
令和3年5月	令和2年度 中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告
令和4年5月	令和3年度 中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告
令和5年5月	令和4年度 中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告
令和6年5月	令和5年度 中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告
令和7年5月	令和6年度 中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップに関する報告

【官民連携による取組の実施状況】

- 草津まちづくり株式会社が草津市中心市街地活性化協議会の事務局として、中心市街地活性化事業を進めるとともに、タウンマネジメントの役割を担ってきました。
- 令和6年度には、旧山内邸を改修し“ひととまちをつなぐ”宿場町の拠点を整備しました。今後、本陣エリアに新しい人の流れを生み出し、魅力的な店舗を誘致しやすい環境づくりが期待されます。

実施年月	内容
平成26年7月	niwa+(ニワタス)開業
平成27年10月	東海道・草津宿テナントミックス事業(第1期)
平成29年4月	クサツココリバ開業
令和5年4月	東海道・草津宿テナントミックス事業(第2期)
令和7年4月	東海道草津宿拠点(旧山内邸)開業



▲旧山内邸の様子

【持続的なまちづくり体制の構築状況の確認】

- 本計画と同様の事業を位置付けている、中心市街地活性化基本計画が令和6年度をもって計画満了を迎えることから、これまで培ってきた官民連携の取組をさらに深化させ、市民主導のまちづくりを推進するための新たな指針として、「草津駅周辺エリア未来ビジョン」が策定されました。

- 草津駅周辺エリア未来ビジョンに描いた、めざす将来像を実現するため、多様な関係者が相互に連携して取組を進めていく「くさつまちなかエリアプラットフォーム」が設立されました。本組織は、まちに関わる全ての人に開かれた機関として、「デザイン会議」を設置し、まちの結節点として、多くの人をつなぎ、チャレンジを支援しています。



▲くさつまちなかエリアプラットフォーム、デザイン会議イメージ

6. 効果発現要因の整理について

指標1 歩行者通行量（休日）					目標達成度	△
事業名	事業実施期間		目標に対する影響度	総合所見		
	開始年度	終了年度				
基幹事業	① 道路 大路野村線道路整備事業	R2	R6	—	■ 直接的に関連する事業 歩行者通行量調査の計測地点と同箇所（東海道草津宿本陣通り景観重点地区形成事業など）や沿線施設（市民総合交流センター）については、指標の改善に直接的に貢献する事業として整理します。 ・キラリエ草津（市民総合交流センター）の施設整備により、施設を利用する人の通行が増加しました。またオープンスペースを利用したイベント開催により新たな人の流れができました。 ・拠点施設やその周辺の道路整備等により、歩行環境の改善が見られました。 ・市街地再開発事業により、商業・住宅の複合ビルが完成し、店舗利用者が増加したことで新たなにぎわいを創出しました。 ・東海道沿道無電柱化事業や東海道草津宿本陣通り景観重点地区形成事業、宿場街道景観形成事業により歴史的まちなみの景観性が向上しました。 ■ 間接的に関連する事業 歩行者通行量調査の計測地点への回遊性向上に寄与する事業（草津駅公衆便所の洋式化など）については、指標の改善に間接的に貢献する事業として整理します。 ・草津駅公衆便所の洋式化によるバリアフリー化整備や通学路交通安全対策実施プログラムに基づく通学路整備が回遊性の向上に寄与しました。 ・市道宮町渋川線他管理用カメラ整備事業や、草津駅エスカレーターの耐震対策により、安全・安心な環境が整いました。	
	② 公園（仮称）くさつアクアパーク整備事業	R1	R6	—		
	③ 地域生活基盤施設（仮称）市民総合交流センター整備事業（オープンデッキ）	R1	R3	△		
	④ 地域生活基盤施設（仮称）市民総合交流センター整備事業（駐輪場）	R1	R3	△		
	⑤ 地域生活基盤施設 草津駅西口自転車駐車場整備事業	R3	R6	△		
	⑥ 高質空間形成施設 東海道沿道無電柱化事業	R3	R6	△		
	⑦ 高質空間形成施設 草津駅西口公衆便所更新事業	R1	R2	△		
	⑧ 高質空間形成施設 草津駅東口公衆便所更新事業	R4	R5	△		
	⑨ 高質空間形成施設 草津駅前地下駐車場エレベーター更新事業	R4	R5	△		
	⑩ 高質空間形成施設 草津駅前地下駐車場便所更新事業	R4	R5	△		
	⑪ 高質空間形成施設 草津駅東口エスカレーター改修工事	R4	R4	△		
	⑫ 高次都市施設（仮称）市民総合交流センター	R1	R3	△		
	⑬ 市街地再開発事業 北中西・栄町地区市街地再開発事業	R1	R2	△		
提案事業	⑭ 魅力店舗誘致事業（全域）	R1	R6	△		
	⑮ 東海道草津宿本陣通り景観重点地区形成事業	R1	R6	△		
	⑯ 宿場街道景観形成事業	R1	R6	△		
	⑰ 市道宮町渋川線他管理用カメラ整備事業	R1	R1	△		
	⑱ 草津アミカホール特定天井等改修工事	R5	R6	—		
	⑲ 野村運動公園防球ネット他整備事業	R2	R2	—		
	⑳ 立地適正化計画更新事業（全域）	R5	R5	△		
一体型滞在快適性等向上事業	⑳ 東海道草津宿拠点整備事業	R6	R6	△		
関連事業	㉑ 通学路交通安全対策実施プログラムに基づく通学路整備	H28	R2	△		
	㉒ 東海道沿道無電柱化事業	R3	R6	△		

※ 目標の達成度が「△」または「×」の場合の影響度（記号）の考え方

××：事業が効果を発揮できず、指標の目標を達成できなかった直接的な原因となった

×：事業が効果を発揮できず、指標の目標を達成できなかった間接的な原因となった

△：目標は達成していないが、指標の改善には貢献した

—：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので評価できない



改善の方針

- ・官民連携によるにぎわいの面的波及に取り組みます。
- ・歴史と景観を活かしたまち並みの形成に取り組みます。
- ・魅力店舗の誘致や空き家・空き店舗の活用に取り組みます。
- ・安心・安全な歩行者空間の形成に取り組みます。
- ・公共空間等の滞在快適性の向上に取り組みます。

指標2 健幸・観光・交流施設利用者数					目標達成度	○
事業名	事業実施期間		目標に対する 貢献度	総合所見		
	開始年度	終了年度				
基幹事業	① 道路 大路野村線道路整備事業	R2	R6	○	<p>■ 直接的に関連する事業</p> <p>計測対象の施設を整備している事業(市民総合交流センターなど)については、指標の改善に直接的に貢献する事業として整理します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフロニア草津アクアティクスセンター(市立プール)の整備により、日常の市民利用に加えて大規模水泳大会が実施されました。 ・キラリエ草津(市民総合交流センター)の整備事業において駅周辺の老朽化した公共施設が集約化されるとともに、市民交流の場としての貸会議室や、生活拠点としてのスーパーマーケット等が整備されたことで、幅広い目的による利用につながりました。 ・野村運動公園等の施設整備によって安心して利用できるスポーツ環境が整い、イベントも開催されました。 <p>■ 間接的に関連する事業</p> <p>計測対象の施設へ来訪するきっかけに寄与する事業(市街地再開発事業など)については、指標の改善に間接的に貢献する事業として整理します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地再開発事業や魅力店舗誘致事業によって、店舗利用者が増加したことによって、近隣施設(健幸・観光・交流施設)へ行くきっかけに寄与しました。 ・市道宮町渋川線他換地用カメラ整備事業や通学路交通安全対策実施プログラムに基づく通学路整備により、安全・安心な環境が整いました。 ・宿場街道景観形成事業などの景観整備事業、公衆便所の整備等により、歩行者の回遊につながりました。 	
	② 公園 (仮称)くさつアクアパーク整備事業	R1	R6	◎		
	地域生活基盤施設 ③ (仮称)市民総合交流センター整備事業 (オープンデッキ)	R1	R3	◎		
	地域生活基盤施設 ④ (仮称)市民総合交流センター整備事業(駐輪場)	R1	R3	◎		
	地域生活基盤施設 草津駅西口自転車駐車場整備事業	R3	R6	○		
	⑤ 高質空間形成施設 東海道沿道無電柱化事業	R3	R6	○		
	⑥ 高質空間形成施設 草津駅西口公衆便所更新事業	R1	R2	○		
	⑦ 高質空間形成施設 草津駅東口公衆便所更新事業	R4	R5	○		
	⑧ 高質空間形成施設 草津駅前地下駐車場エレベーター更新事業	R4	R5	○		
	⑨ 高質空間形成施設 草津駅前地下駐車場便所更新事業	R4	R5	○		
	⑩ 高質空間形成施設 草津駅東口エスカレーター改修工事	R4	R4	○		
	⑪ 高質空間形成施設 草津駅東口エスカレーター改修工事	R4	R4	○		
	⑫ 高次都市施設 (仮称)市民総合交流センター	R1	R3	◎		
⑬ 市街地再開発事業 北中西・栄町地区市街地再開発事業	R1	R2	○			
提案事業	⑭ 魅力店舗誘致事業(全域)	R1	R6	○		
	⑮ 東海道草津宿本陣通り景観重点地区形成事業	R1	R6	○		
	⑯ 宿場街道景観形成事業	R1	R6	○		
	⑰ 市道宮町渋川線他管理用カメラ整備事業	R1	R1	○		
	⑱ 草津アマカホール特定天井等改修工事	R5	R6	○		
	⑲ 野村運動公園防球ネット他整備事業	R2	R2	◎		
⑳ 立地適正化計画更新事業(全域)	R5	R5	○			
一体型滞在快適性等向上事業	㉑ 東海道草津宿拠点整備事業	R6	R6	○		
関連事業	㉒ 通学路交通安全対策実施プログラムに基づく通学路整備	H28	R2	○		
	㉓ 東海道沿道無電柱化事業	R3	R6	○		

※ 目標の達成度が「○」の場合の貢献度(記号)の考え方

◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した

○ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した

△ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった

- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので評価できない



今後の方針

- ・拠点施設における交流機会の創出に取り組みます。
- ・多様な主体による連携の強化に取り組みます。

指標3 中心市街地内の営業店舗数					目標達成度	○
事業名	事業実施期間		目標に対する影響度	総合所見		
	開始年度	終了年度				
基幹事業	① 道路 大路野村線道路整備事業	R2	R6	—	■ 直接的に関連する事業 営業店舗数増加に寄与する事業(市街地再開発事業など)については、指標の改善に直接的に貢献する事業として整理します。 ・市街地再開発事業により、商業・住宅の複合ビルが完成し、商業テナントが入居したことで店舗数が増加しました。 ・魅力店舗誘致事業では、テナント等が負担する初期整備費の一部補助を行ったことで、店舗数が増加につながりました。 ■ 間接的に関連する事業 出店意欲が高まる効果が期待される事業(宿場街道景観形成事業など)については、間接的に関連する事業として整理します。 ・キラリエ草津(市民総合交流センター)の1階屋外にあるプロムナードは、販路開拓を目指す事業者支援の場としても活用されています。 ・東海道沿道無電柱化事業や東海道草津宿本陣通り景観重点地区形成事業や宿場街道景観形成事業により、くさつ夢本陣周辺まで人の流れを作り出しました。 ・駐輪場整備により、中心市街地へのアクセス性が向上し、駅周辺の回遊性向上に寄与しました。	
	② 公園 (仮称)くさつアクアパーク整備事業	R1	R6	—		
	③ 地域生活基盤施設 (仮称)市民総合交流センター整備事業 (オープンデッキ)	R1	R3	—		
	④ 地域生活基盤施設 (仮称)市民総合交流センター整備事業(駐輪場)	R1	R3	○		
	⑤ 地域生活基盤施設 草津駅西口自転車駐車場整備事業	R3	R6	○		
	⑥ 高質空間形成施設 東海道沿道無電柱化事業	R3	R6	○		
	⑦ 高質空間形成施設 草津駅西口公衆便所更新事業	R1	R2	—		
	⑧ 高質空間形成施設 草津駅東口公衆便所更新事業	R4	R5	—		
	⑨ 高質空間形成施設 草津駅前地下駐車場エレベーター更新事業	R4	R5	—		
	⑩ 高質空間形成施設 草津駅前地下駐車場便所更新事業	R4	R5	—		
	⑪ 高質空間形成施設 草津駅東口エスカレーター改修工事	R4	R4	—		
	⑫ 高次都市施設 (仮称)市民総合交流センター	R1	R3	◎		
	⑬ 市街地再開発事業 北中西・栄町地区市街地再開発事業	R1	R2	◎		
提案事業	⑭ 魅力店舗誘致事業(全域)	R1	R6	◎		
	⑮ 東海道草津宿本陣通り景観重点地区形成事業	R1	R6	○		
	⑯ 宿場街道景観形成事業	R1	R6	○		
	⑰ 市道宮町渋川線他管理用カメラ整備事業	R1	R1	—		
	⑱ 草津アマカホール特定天井等改修工事	R5	R6	—		
	⑲ 野村運動公園防球ネット他整備事業	R2	R2	—		
	⑳ 立地適正化計画更新事業(全域)	R5	R5	○		
一体型滞在快適性等向上事業	⑳ 東海道草津宿拠点整備事業	R6	R6	○		
関連事業	㉑ 通学路交通安全対策実施プログラムに基づく通学路整備	H28	R2	—		
	㉒ 東海道沿道無電柱化事業	R3	R6	○		

※ 目標の達成度が「△」または「×」の場合の影響度(記号)の考え方

××: 事業が効果を発揮できず、指標の目標を達成できなかった直接的な原因となった

×: 事業が効果を発揮できず、指標の目標を達成できなかった間接的な原因となった

△: 目標は達成していないが、指標の改善には貢献した

—: 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので評価できない

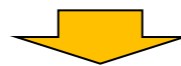


今後の方針	・新規出店者への支援に取り組みます。
-------	--------------------

7. 今後のまちづくり方策について

都市再生整備計画の課題が事業実施により、どのように変化したのかをまとめます。

都市再生整備計画の課題	まちの課題の変化（達成されたこと/残された課題）	効果を持続させる考え方/ 残された課題に対する改善策の考え方	想定される事業
①観光やお出かけの滞在型ニーズを取り込むため、歴史と景観を活かした回遊できる環境の整備	達成されたこと ◆官民連携によるにぎわいの面的波及 草津まちづくり株式会社と行政が連携し、キラリエ草津（市民総合交流センター）やniwa+（ニワタス）、草津川跡地公園にてイベントを開催したことで、回遊を促すきっかけとなりました。	引き続き、エリアごとの特性に応じた活性化と各エリアのにぎわいをまち全体へ波及するため、官民連携による民間を中心とした取組を推進します。	・ 中心市街地内におけるイベントの継続
	◆歴史と景観を活かしたまちなみの形成 無電柱化事業や宿場街道景観形成事業、東海道草津宿本陣通り景観重点地区形成事業による歴史的まちなみ景観の向上を通じて、まちの回遊性の向上が図られました。	引き続き、歴史と景観に配慮したまちなみの形成に取り組みます。	・ 宿場街道景観形成事業の継続 ・ 東海道草津宿本陣通り景観重点地区形成事業の継続
	◆魅力店舗の誘致や空き家・空き店舗の活用 魅力店舗誘致事業による、テナント等が負担する初期整備費の一部補助を行ったことで、中心市街地内に営業する店舗数が増加し来訪者が増えるきっかけとなりました。	引き続き、魅力店舗の誘致や空き家・空き店舗の活用をします。	・ 魅力店舗誘致事業の継続 ・ 東海道・草津宿テナントミックス事業の継続
	残された課題 ◆公共空間等の滞在快適性の向上 拠点施設の集約化や整備によりにぎわいが創出された。このにぎわいを周辺に波及できるように、拠点施設の公共空間等を活用したイベント開催やまちの魅力等の情報発信により、さらなる回遊性の向上を図る必要があります。	さらなる回遊性の向上のため、公共空間やオープンスペースを活用したイベントの開催、統一感のあるサインや路面標示の整備、まちの魅力やイベントの情報発信を行います。	・ 公共空間やオープンスペースを活用したイベントの開催 ・ 景観や歴史を活かした統一感あるサインや路面標示の整備 ・ 情報掲示板や SNS 等を活用した情報の発信
	◆安心・安全な歩行者空間の形成 事業の実施により、にぎわいが創出され、まちを歩く人が増加した一方、交通量も増加しました。安心・安全な人中心の歩行者空間の形成を進める必要があります。	さらなる回遊性の向上のため、まちに住む人やまちを訪れる人にとって安全で歩きやすい空間となるよう歩行者優先のウォークアブルな空間づくりを進めます。	・ 道路空間の活用の社会実験
②拠点施設を活用したにぎわいを創出するため、健幸づくりを中心とした市民交流の拡大	達成されたこと ◆拠点施設における交流機会の創出 拠点施設の整備によるスポーツ環境の整備や市民交流の場の創出等により、まちの集客力の向上が図られました。	引き続き、各施設が多様な人との交流の場となるように、交流機会の創出を行います。	・ 拠点施設におけるイベントの実施 ・ 拠点間の連携強化
	残された課題 ◆多様な主体による連携 拠点施設の整備によりまちの集客力の向上が図れたが、さらなる交流機会の拡大に向けて、地域、団体、事業者、行政が連携を図る必要があります。	さらなるまちの魅力向上に取り組むため、地域、団体、事業者、行政が連携します。	・ 「くさつまちなかエリアプラットフォーム」による相互の連携
③商業機能の求心力向上のため、魅力ある店舗の面的な出店促進	達成されたこと ◆新規出店者への支援 再開発ビルへの商業テナントの入居や魅力ある店舗の誘致等により、駅周辺エリア経済の進展が図られました。	出店候補地としての情報発信や、新規出店を検討している事業者へ相談等を行うとともに、出店に向けた補助事業の情報提供を行います。	・ くさつビジネスサポートセンターによる個別相談やマッチング支援 ・ 魅力店舗誘致事業の継続（再掲） ・ 東海道・草津宿テナントミックス事業の継続（再掲）



まちの課題の変化（新たな課題）	新たな課題に対する考え方	想定される事業
新たな課題 ◆県南部地域を牽引するまちづくり 滋賀県南部地域の中核となる草津駅周辺エリアの果たすべき使命として、県民の暮らしと経済を牽引し、広域の発展を生み出す活力の源泉となる必要があります。	草津駅周辺エリアが県民の暮らしと経済を牽引し、広域の発展を生み出す活力の源泉となるよう、広域的な都市機能の誘導を行います。	・ 広域的な都市機能誘導施設の誘導 ・ 広域的な立地適正化の方針の策定

8. 次期計画や他地区への活かし方

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	中心市街地活性化基本計画における目標指標と同一指標を設定したことにより、毎年度の指標の達成状況を確認することができました。	今後、歩行者通行量を指標とする場合は、近年の酷暑を考慮し、歩行者通行量の計測時期として7, 8月を除いた時期とすることも検討します。
	うまくいかなかった点	指標1「歩行者通行量（休日）」では、計測時期の気象条件など外的要因が人流に影響しました。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	(仮称) くさつアクアパーク整備事業(インフロニア草津アクアティクスセンター(市立プール))の完成が令和6年度に延期されたことを踏まえ、指標の目標年度も令和6年度に変更したことで、指標2「健幸・観光・交流施設利用者数」について事業との整合を図ることができました。	-
	うまくいかなかった点	-	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	草津市中心市街地活性化協議会において草津市商工会議所や関係団体、地域住民、民間事業者と行政がまちづくりについて協議および情報共有を図ることができました。	草津市中心市街地活性化協議会の後継である「くさつまちなかエリアプラットフォーム」と連携を図りながら、事業を進めます。
	うまくいかなかった点	-	
PDCAによる 事業・評価 の進め方	うまくいった点	他計画と指標の整合を図っていたことで、他計画のフォローアップを活用して本計画の数値目標や取組の進捗状況などを確認できました。	進捗状況等を適切に管理するため、関連する計画と並行してフォローアップ等を実施します。
	うまくいかなかった点	-	
その他	うまくいった点	-	-
	うまくいかなかった点	-	